

大整振八尾柏原地区会 盛大に創立40周年式典



した。また、大整振の山本会長は「整備業界は課題が山積しているが、八尾柏原地区会は一致団結して課題解決に向けて取り組んでいく」と祝辞を述べた。

り策、技術論、人材育成まで幅広い分野に渡って白熱した議論が繰り広げられた。会場内の出席者も巻き込んで繰り広げられた討論に出席者らも真剣な表情で臨んでいた。

（新和自動車整備工場）、西村吉信（大吉車輛）、吉川達夫（吉川モーターズ）、松本俊夫（太子自動車工業所）、藤井恵治（藤井自動車）、杉本幸男（アラビヤモーターズ）、安田為造（マルヤス自動車販売）、横地幸（幸陽自動車）、辻野秀男（近畿自動車）

▽感謝状贈呈 矢野駒治

【大阪】大阪府自動車整備振興会（山本昇会長、大整振）八尾柏原地区会（馬場敏美会長）・八尾柏原自動車整備協会（同）は17日、たかつガーデン（大阪市天王寺区）で「創立40周年記念式典」を開催した。式典には地区会会員事業者をはじめ、来賓で大整振の山本会長や大阪府自動車整備商工組合の玉置清理事長ら合わせて約80人が出席し、盛大に開かれた。

続いて、記念事業として『日本一の車屋集団になる！』未来に勝ち抜く「3つの条件」とは」と題し、パネルディスカッションを行った。パネルには、大整振顧問で大阪府自動車販売事業協同組合の京極智博理事長や大整振の勝田年和専務理事、大阪自動車青年会議所の柏原隆宏会長のほか、八尾柏原地区会から森協和信（40周年記念事業実行委員長）、松本徹（会計）両氏を含む計5人が登壇。また地区会メンバーの馬場孝至氏（日輪工業社長）がコーディネーターとして臨んだ。

パネルディスカッションでは、整備業界を取り巻く環境から今後の自動車業界の在り方、整備業界としての生き残り